

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている			
		商店街（代表者）	販売量の動き	・円高をいかして中国などから輸入した雑貨を格安で販売し、客寄せにしている。
		百貨店（商品担当）	販売量の動き	・まだ量販ブランドまでは波及していないが、特選ブランドや高額品の売上が伸びている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は若干減少しているが、買上単価は上昇しているなど、消費が増えつつある。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・太陽光発電設備の導入に対する補助金の申込は、3月末が期限であるため、駆け込み注文が発生している。
		乗用車販売店（営業担当）	それ以外	・エコカー補助金の効果か、販売台数が増えている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・エコカー減税の影響もあり、ハイブリッド車を中心に受注台数が大きく伸びている。
		住関連専門店（店長）	お客様の様子	・購入意欲の感じられる客が増え、接客時間が長くなっているほか、見積依頼も増えてきている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ランチ、ディナー共に前月よりも売上が伸びている。特に、ランチでは初めて来店する客も多くみられる。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・週の前半を中心に、平日の来客数が回復傾向にある。
		一般レストラン（店員）	来客数の動き	・最近は非常に忙しく、例年のように節分の前後も客が減る気配はない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・この時期は来客数が天候や道路状況に左右されるため、好不調の判断は難しいが、売上が前年並みに戻ってきている。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・1月から始めた、当社サービス加入者向けのスマートフォン料金の割引が好評で、加入申込が伸びている。
	競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は10,133円と前月よりも下がったが、3か月前の9,563円よりもやや高くなっている。	
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・駅に近い立地で大型マンションの販売を開始したが、集客状況は好調となっている。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・週末の売上は前年並みであるが、平日の動きが悪く、客足が引くのも早い。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・月前半は出足が好調であったが、後半は急に暇な日が増えている。寒さや悪天候の影響が大きいほか、近くの大型商業施設でバレンタインデー関連のイベントが続いた影響も大きい。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	販売量の動き	・大型店の廃業や撤退もあり、業務用商品の販売量が大きく減少している。
		一般小売店〔菓子〕（経営企画担当）	販売量の動き	・2月と前年11月の売上前年比を上位5店舗の平均で見ると、関西は2月が90.0%で、11月が87.1%となっている。お歳暮商戦の不調で11月は非常に悪かったため、今年に入って多少は持ち直した感があるものの、不安定な状態が続いている。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き	・この時期は冬物、春物衣料共に動きが停滞するが、今年は例年以上に販売量が少ない。消費者の動きも鈍いなど、印象は非常に悪い。
一般小売店〔花〕（店長）		単価の動き	・天候不順で花の入荷が激減しているほか、価格の高騰で販売量が減っている。	
一般小売店〔カメラ〕（販売担当）		お客様の様子	・年度末を控えて、例年2月は注文や見積依頼が集中するが、今年はほとんどみられない。	
百貨店（売場主任）		来客数の動き	・依然として低迷が続くなか、環境意識の高まりなどから、低価格品よりも長持ちする商品に需要が変化しつつある。その一方、希少価値の高い限定品などへの関心も高く、高額品が売れているほか、食品に対する関心も高い。	
百貨店（売場主任）		お客様の様子	・今月は衣料品の下支えで売上目標は達成できるが、パーゲン商品が好調である一方、定価品の動きは悪い。不要不急の商品に対する客の購買意欲は低く、必要な商品でも節約し、購入量を抑える動きが続いている。	
百貨店（企画担当）	お客様の様子	・例年よりもかなり気温の低い日が続き、衣料品を中心に春物商材の動きが非常に鈍い。		

百貨店（企画担当）	お客様の様子	・バレンタインデー関連の商品は好調であるが、通常品の売上がなかなか増えないほか、気温の変化による来客数の増減が激しい。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・寒さの影響で春物衣料の売上は芳しくないが、高額な美術品やブランド品など、例年は売行きが悪い商品の動きが非常に良い。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・今月中旬まではバレンタインデー関連の盛り上がりで好調となったが、全体的には食料品を除いて低調な動きとなっている。
百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今年のバレンタインデー商戦は、女性の友人同士のプレゼントや、自分のための購入が好調で、特に高級品の売行きが良かった。その一方、寒気の影響で婦人物を中心に防寒用品は好調であったが、来客数は前年比で5%減となっている。
百貨店（婦人服）	販売量の動き	・この時期は閉店セールなどによる盛り上がりはあるが、定価品は春物商材の動きも鈍く、停滞気味となっている。
百貨店（販促担当）	来客数の動き	・来客数は前年割れが続いており、客単価も前年を下回っている。バレンタインデー関連の売行きは堅調であったが、春物商材は気温要因もあって苦戦している。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・今月は例年になく冷え込みと天候不順により、来客数が伸び悩んでいる。冷え込みによる農産物価格の上昇で売上は伸びているが、利益をある程度犠牲にしており、収益面では厳しい。ただし、節分やバレンタインデーなどの季節催事の動きは堅調となっている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・気温の低下で、冬物の肌着や寝具、寝装品の動きが順調な反面、入園や入学、新生活関連の動き出しが鈍い。
スーパー（広報担当）	販売量の動き	・節分やバレンタインデーといったハレの日の消費は堅調であるが、普段は節約志向が更に強まっている。気温がほとんど上がっていないこともあり、春物商材の出足も鈍い。
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・依然として購買点数は低水準となっている。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・客の様子をみていると、割引シールの配布日やポイントのサービスなど、ただ価格が安いだけでなく、プラスアルファのサービスを求めて買い回りをしている。
スーパー（社員）	来客数の動き	・例年この時期は消費が減少するが、来客数は前年よりも多い。ただし、店頭価格は低下が続いており、全体として上向いているとはいえない。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・値引きが常態化し、客単価のやや低い状態が続いているが、来客数の増加につながっている感はない。
コンビニ（店員）	お客様の様子	・相変わらず低額商品を買って求める客が目立つ。
コンビニ（広告担当）	来客数の動き	・3か月前と比べても、来客数などに大きな変化はない。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・今月は客単価が前年比で1～2割下がっているほか、最近暖かくなった影響で来客数も減少している。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・例年2月は暇になるが、今年は特に寒かった影響で人の動きが非常に悪い。
乗用車販売店（営業企画）	お客様の様子	・来客数は年度末に向けて増えているが、販売単価の低下は続いている。
その他専門店【食品】（経営者）	販売量の動き	・販売額には変化がみられない。
その他専門店【スポーツ用品】（経理担当）	販売量の動き	・デフレ傾向に変化はみられず、販売額も横ばいが続いている。
その他専門店【宝飾品】（販売担当）	お客様の様子	・高額商品を購入する際も、値引きに関する客の姿勢は非常にシビアである。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・気候要因などで近隣の商店街の人通りも少なく、来客数が伸びていない。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数が前年を下回る状態が続いている。

一般レストラン (経理担当)	お客様の様子	・宴会については、昼の時間帯は堅調に推移している一方、夜は低調となっている。全国的な寒波の影響で客足が全体的に鈍いほか、消費税率の引上げや年金の問題などで、節約志向も強まっている。	
観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・大雪で交通機関がストップしたこともあり、本当にひどい売上となっている。	
観光型旅館(団体役員)	来客数の動き	・ここ数か月の売上は、前年比で10%減といった水準が続いている。	
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊は、円高の影響で韓国や中国からの観光客が半減している。ビジネスが中心の国内旅行客の客単価も低迷し、来客数に変化はないものの、売上が減少したままとなっている。レストランも、ランチを中心に来客数が年明けから落ちたままである。その一方、宴会部門は企業を中心に好調で、売上全体を下支えしている。	
都市型ホテル (客室担当)	来客数の動き	・前年よりも客室単価は下がっているが、客室の稼動が増えた結果、売上は前年を上回っている。	
都市型ホテル (マネージャー)	来客数の動き	・レストラン部門は比較的好調に推移しているが、宿泊、宴会部門が芳しくなく、特に法人需要の減少が感じられる。全体としては、法人需要の落ち込みを個人客ではカバーしきれない状況である。	
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・海外旅行の予約受付が意外に伸びていないが、その代わりに国内旅行が健闘している。前年は東日本大震災の影響で春休みの需要が飛んでしまったため、今年は関東のテーマパークを中心に予約が入っている。	
旅行代理店(広報担当)	お客様の様子	・春休みやゴールデンウィークの予約が伸びておらず、年末年始と同じような間際予約の動きがみられる。旅行には行きたいが、もう少し状況をみてから決めるといった客が多く、空き状況の問い合わせは多いが、実際の申込にはつながっていない。	
タクシー運転手	お客様の様子	・寒い日が続いているため、必要最小限の利用はみられるほか、送別会などの関係で少しは動いている。	
タクシー運転手	お客様の様子	・客の生活防衛意識は強く、タクシーの利用は最寄りの駅までといった近距離が中心となっている。この時期は気温の変化が激しいため、年始に次ぐ稼ぎ時となるが、思ったほど売上は伸びていない。	
競艇場(職員)	単価の動き	・客単価が3か月前と比べて変わらない。	
その他レジャー施設[イベントホール](職員)	お客様の様子	・イベントの開催回数に大きな変化はないが、グッズの購入額や売店の売上から判断すると、客の数が減ってきている感がある。	
その他レジャー施設[飲食・物販系滞在型施設](企画担当)	来客数の動き	・オフシーズンで全体的な集客がやや悪かったほか、海外からの観光客では韓国の回復が遅い。	
美容室(店員)	単価の動き	・例年は春に近づくと動きが出てくるが、今年はやや客単価が低い。	
その他サービス[学習塾](経営者)	来客数の動き	・今月は無料体験キャンペーンを行ったが、生徒数に大きな変化はない。	
住宅販売会社(総務担当)	来客数の動き	・例年2月は動きの悪い時期であるが、今年は特に不動産の動きが悪い。	
その他住宅投資の動向を把握できる者[不動産仲介](経営者)	お客様の様子	・物件の取引状況をみると、件数はそれほど減少していない。	
その他住宅[展示場](従業員)	来客数の動き	・住宅展示場で回収されたアンケート数は、ほぼ前年並みとなっている。	
その他住宅[情報誌](編集者)	お客様の様子	・新築マンションは前年に在庫調整が進んだことで、年度末に向けた在庫処分の動きも弱く、大きな変化はみられない。また、最近は新規発売物件数が増加傾向となっている。	
やや悪くなっている	一般小売店[衣服](経営者)	来客数の動き	・異常な寒波で冬物商材や防寒衣料は前年以上に売れたが、春物商材の販売が前年の50%と大苦戦したこともあり、売上は前年比で8%減となっている。
	一般小売店[精肉](管理担当)	単価の動き	・客の節約志向が強まったのか、これが通常の状態なのかは不明であるが、単価の高い商品が動きにくくなっている。

一般小売店〔鮮魚〕(営業担当)	お客様の様子	・今月は寒い日が続いているため、客足も鈍い。例年2月は売上が悪化するが、今年は前年の92%と大きく落ち込んでいる。	
一般小売店〔衣服〕(経営者)	来客数の動き	・今月の後半から来客数が大きく減少している。	
百貨店(売場主任)	販売量の動き	・気候要因などで今月は来客数が減っており、売上も12、1月に比べて減少している。	
百貨店(売場主任)	販売量の動き	・防寒具の動きもピークを過ぎ、衣料品を中心に販売が悪化している。春物衣料も動きが鈍いほか、高級雑貨や宝飾品の動きも少ない。	
百貨店(売場担当)	販売量の動き	・今月の売上は前年比で1.2%減と、3か月前とほぼ同じ水準であるが、今年がうるう年であることを考慮すると、3か月前よりも若干悪化している。	
百貨店(マネージャー)	販売量の動き	・高額品だけでなく、服飾関連は総じて動きが悪くなっている。春物や新作についても顧客の反応が鈍い。服飾品以外でも、一部の低価格品は動いているが、販売量は振るわない。	
スーパー(経営者)	競争相手の様子	・以前から競合相手の多い地域であり、そのうちの1店舗が今月末で閉店となったが、厳しい状況に変化はない。	
スーパー(企画担当)	来客数の動き	・来客数が前年の96%と、底がみえない状態となっている。	
スーパー(開発担当)	販売量の動き	・販売量の減少が続いており、前年の80%程度となっている。	
スーパー(企画)	お客様の様子	・例年よりも雪が多く、寒い日も続いているため、防寒関連や生活必需品の販売量が増えている。ただし、ファッション関連やし好性の強い商品は、相変わらず動きが鈍い。景気回復の兆しがなく、消費者は無駄な出費は控えているため、厳しい状況となっている。	
コンビニ(経営者)	来客数の動き	・近くに弁当屋が増えたほか、寒さの影響で客が減っている。また、近隣のマンション工事が終わりつつあることで、作業員の来店も減少している。	
コンビニ(店長)	来客数の動き	・近隣にたばこの自動販売機が増えたこともあるが、寒い日が続いた影響で来客数が減っている。	
衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・バーゲンも最終価格となっているが、国産品を求めて来店してきた客が、価格が合わずに帰るケースが目立っている。	
一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・高額なメニューの好調で客単価が上昇しているため、大幅な売上の減少は免れているものの、来客数が全体的に悪化している。	
都市型ホテル(支配人)	販売量の動き	・東日本大震災の影響ではないが、宿泊、宴会共に減少気味となっている。	
都市型ホテル(総務担当)	来客数の動き	・正月明けから来客数が大幅に減少しており、特に料飲部門での減少が目立っている。景気の悪化や厳冬による影響で、周辺の人出が全体的に減っている。	
美容室(店長)	来客数の動き	・来客数が予想以上に減少している。	
その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕(エリア担当)	来客数の動き	・新作商品に力がないほか、競争の激化などでレンタル客が減少している。レンタル以外にも悪影響が出ており、売上は前年割れが続いている。	
住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・異動シーズンを迎つつあるが、いまだに需要が伸びてこない。	
悪くなっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・例年は春物の動きが出てくる時期であるが、今年はまだ冬物のバーゲンが中心となっているなど、客の動きが鈍い。
	一般小売店〔野菜〕(店長)	お客様の様子	・取引先の飲食店は相変わらず業況が悪いため、注文がほとんど入らない。
	一般小売店〔花〕(店員)	販売量の動き	・前年に比べて売上が非常に悪い。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・天候や気温による影響もあるが、来客数、客単価共に悪化している。食料品は来客数の減少が目立つほか、衣料品は寒波の影響で春物商材の売行きが悪いほか、卒業、入学関連商材の動きも鈍い。また、住居関連はテレビなどの家電を中心に、厳しい状況が続いている。
	衣料品専門店(販売担当)	お客様の様子	・客の購入サイクルが長くなっている。
	観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・今月は来客数、販売量共に目標を大きく下回っている。前年よりも営業日数が1日多いにもかかわらず、前年に比べてもかなり悪い。周辺の同業他社からも、今月はかなり悪いという声が多く聞かれる。

企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	プラスチック製 品製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・物の動きに勢いが出てきている。本格的な回復では ないものの、雰囲気は悪くない。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・前月の売上は極端に悪かったため、まだまだ楽観視 はできないが、引き合いの増加で受注も増えている。
		電気機械器具製 造業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・引き合い件数が伸びている。
		輸送業（営業所 長）	受注量や販売量 の動き	・事務所の移転や配送の新規案件の話が出てきてお り、少しは良くなりつつある。
		その他非製造業 〔民間放送〕 （従業員）	受注量や販売量 の動き	・株価の上昇や、新年度に向けての期待感の高まりな どで、受注が増えている。
	変わらない	食料品製造業 （従業員）	受注価格や販売 価格の動き	・大手量販店のプライベートブランドも出そろい、価 格の安い商品が棚を占めるなか、中小量販店もプライ ベートブランドを強化し始めている。納入価格は極め て低いが、無理をしてでも受注しなければ、販売増が 見込めなくなっている。
		食料品製造業 （経理担当）	受注量や販売量 の動き	・販売促進費は増加しているが、販売量は横ばいのま まである。
		繊維工業（団体 職員）	受注量や販売量 の動き	・国産品である当地のタオルへの需要が高まりつつあ るが、業況が良くなっているとはいえない。
		パルプ・紙・紙 加工品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・1日当たりの生産量、販売量には変化がない。
		化学工業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・今月の売上は良かったが、前月の受注がずれ込んだ 影響もあるなど、全体としては良くも悪くもない。
		化学工業（管理 担当）	受注量や販売量 の動き	・販売量が過去2年間で最高の水準となるなど、好調 が続いている。
		金属製品製造業 （管理担当）	受注量や販売量 の動き	・仕事量は増えているが、採算の合わない注文が増え ている。
		金属製品製造業 （営業担当）	受注量や販売量 の動き	・自動車関連の出荷は年度末に向けた増産で順調であ るが、建築関連の出荷が低調となっている。
		一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・当社は原子力発電関連の取引先が多いが、それらの 企業は原子力発電以外の市場で生き抜く方法を考えて いる。最近では、原子力発電関連の技術をほかのエネル ギーに転用するための依頼が多く、新たな引き合いや 注文が増えている。
		電気機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・今年は例年に比べて企業の予算がひっ迫している影 響で、投資などを検討している気配はない。
		電気機械器具製 造業（宣伝担 当）	受注量や販売量 の動き	・液晶テレビなどのAV関連を除けば、前年並みの荷 動きであるが、テレビ関連の落ち込みが非常に大き いため、全体としては前年を大幅に下回っている。
		建設業（経営 者）	取引先の様子	・長引く円高や不況の影響で、設備投資には活発な動 きがみられないほか、民間企業が発注する工事では、 相変わらず価格競争が激しい。
		金融業（営業担 当）	取引先の様子	・依然として取引先の状況は厳しい。
		新聞販売店〔広 告〕（店主）	受注量や販売量 の動き	・折込チラシの売上や読者数は横ばいで、上向き気配 はないが、落ち込んでいるわけでもない。
		広告代理店（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・年度末に向けた広告出稿の動きが、例年ほど活発で はない。
		広告代理店（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・東京、名古屋、九州などは前年を上回る傾向にある が、大阪だけは前年を超えたり少し下回ったりと、非 常に不安定である。
		経営コンサルタ ント	受注量や販売量 の動き	・関西の顧客企業については、全体的に回復感がな い。
		経営コンサルタ ント	取引先の様子	・顧客企業の食品スーパーでは、売上が前年よりも大 きく落ち込んでいる。特に来客数の減少が目立ってい るが、各店舗ではその原因をつかみかねている状況で ある。
		コピーサービス 業（店長）	受注量や販売量 の動き	・特に大きな変化はないが、駅の北側に客の流れが集 中しており、予想以上に来客数が伸びていない。
		やや悪く なっている	食料品製造業 （営業担当）	取引先の様子
		繊維工業（総務 担当）	取引先の様子	・売上の減少に伴う経費削減の影響で、催事の集客状 況も良くない。

	一般機械器具製造業（設計担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の増加が見込めず、厳しい状況となっている。	
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・住宅エコポイントという好材料はあるが、戸建住宅向け製品の勢いが鈍化している。	
	建設業（経営者）	それ以外	・大雪の影響で工事に影響が出ている。	
	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・インフルエンザの流行などで、ターミナル駅の週末の乗降客数が減っており、駅構内の店舗売上は総じて減少傾向となっている。	
悪くなっている	不動産業（営業担当）	取引先の様子	・当地域からメーカーなどの事務所が撤退した影響で、空室の増加や賃料の低下につながっている。	
	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	取引先の様子	・外注先からの仕事の依頼が減っている。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・年度末の駆け込み需要の可能性はあるが、派遣受注や成約数がかかなり増えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新聞広告は前年の水準を若干上回っており、特に関西企業からの出稿が増えている。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・業種によって回復に偏りはあるが、求人広告自体は増加傾向にあるなど、やや上向いている感はある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・依然として求職者の希望条件との間にミスマッチが多いものの、求人数は前年よりも増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は23か月連続で前年を上回っている。特に、製造業や建設業、卸売、小売業などで増加傾向が続いている。
		民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・建設関連の日雇市場では人手不足となっており、それに対応して仕事量を制限している業者も目立つ。
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・着実に求人が増加している。今月も前年比で約15%増となっており、当社の売上も同様に伸びている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業の採用意欲が少し上向いてきたのが、学内の合同企業説明会への参加が増加傾向にある。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・新聞の求人広告の動きは、1月以降停滞している。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・人数は多くないが、新入社員の募集がコンスタントに行われつつある。転職市場でも実践力のある人材を採用したいという企業が増えている。
		民間職業紹介機関（大学担当）	採用者数の動き	・来年3月卒業予定の学生に比べて、今年3月卒業予定の学生による就職活動は芳しくない。今のままでは多くの就職浪人が出ることになる。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（企画担当）	求人数の動き	・例年は最も求人が伸びる2、3月の件数が伸び悩んでいる。メーカーによる出稿の減少により、周囲の産業にも影響が出てきている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・有効求職者数は前年比で22か月ぶりに増加に転じたほか、離職者の占める割合が高まっている。一方、これまで大幅な増加が続いていた新規求人数は微減となるなど、雇用情勢に変化がみられる。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・企業の生産調整で正社員や派遣社員の雇用調整が増えているほか、倒産に伴う雇用保険受給者による求職の申込も増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が2か月連続して前年を下回るなど、雇用情勢はやや悪くなっている。
	悪くなっている	-	-	